

## 令和5年度 看護学部卒業生就職先へのアンケート調査結果について

### 1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和4年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

### 2. 概要

調査対象 令和4年度卒業生が看護師等として従事している医療機関等  
(調査対象数：41)

調査期間 令和5年8月～9月

実施方法 インターネット（Google Form）を利用したWebアンケート

質問内容 ①学部ごとの学位授与方針（DP）に対する本学卒業生の実態について  
②本学の教育に求める内容について

### 3. 結果

回収率 36.6% (15/41)

協力機関 JCHO 北海道病院、岩手済生医会 三田記念病院、国立成育医療研究センター、順天堂大学浦安病院、昭和大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、仙台厚生病院、大崎市病院事業、東北公済病院、東北大学病院、那須赤十字病院、北里大学病院、未来の風せいわ病院（匿名希望機関以外）

詳細は別紙の通り。

### 4. 総括

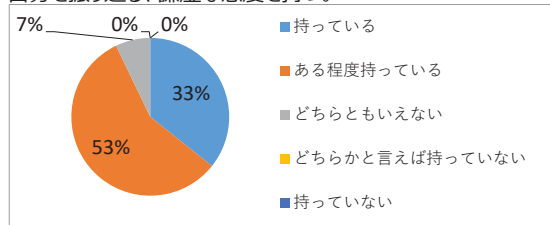
・ディプロマ・ポリシーの達成度合に対して肯定的な評価が過半数を占め、特に「全人的人間性」「苦痛や苦悩への共感」等では90%以上が肯定的な評価となっていた。一方、「どちらともいえない」「未回答」が多い項目については、現時点での評価が難しかった可能性がある。

・本学の教育に求めるものとして、「コミュニケーション能力」が最も高い傾向は他学部と変わらないが、次いで「汎用的知識・技能」「専門的知識・技能」となっており、即戦力が求められていると思われる。

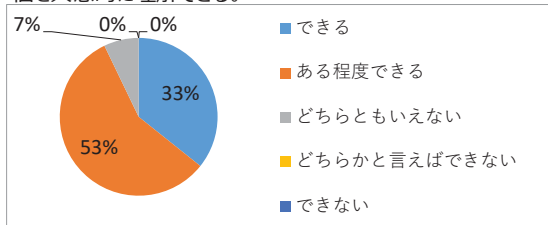
## 看護学部

Q 1. 岩手医科大学看護学部では、以下の9の資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関等に就職した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

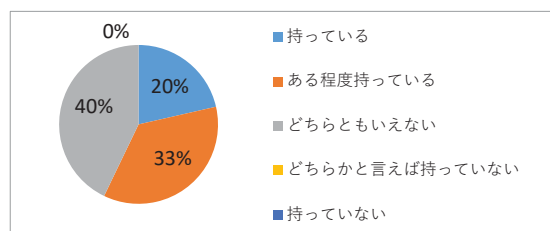
医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。



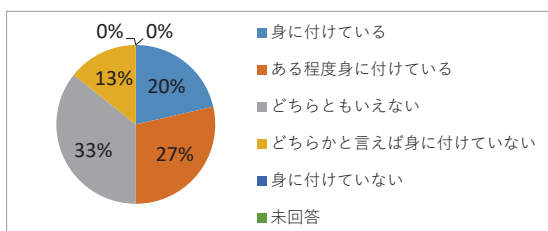
生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。



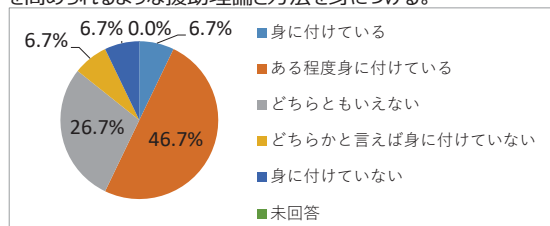
看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。



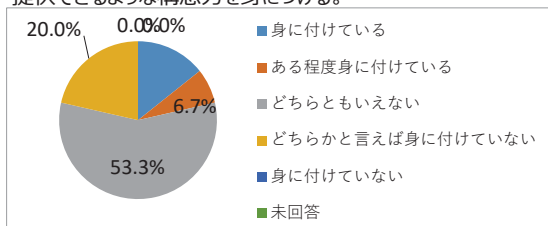
看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。



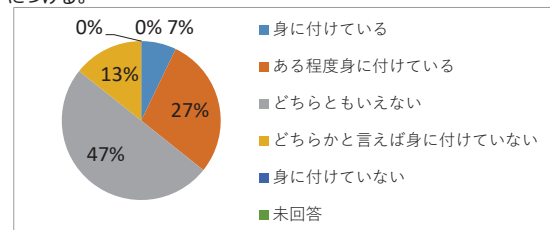
患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。



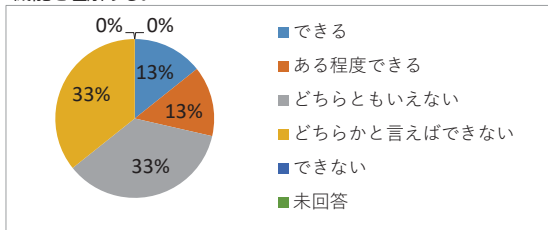
災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。



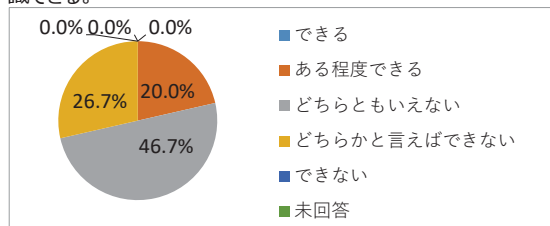
保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。



コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。



変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。



Q 2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。

